

認知症とともに生きる

広川町で認ともミーティング開催

3月17日(土) サンライズケア花にて認ともミーティングが開催されました。

当日は認知症の方とその家族、他市町村の地域包括支援センターの方が参加しました。

ミーティングでは、サイコロを転がして出たテーマに沿ってそれぞれが話し、笑い声で包まれていました。

また最後にはシンガーソングライターを目指す辻本弥大さんのギターの音に合わせて参加者全員で「ふるさと」など歌を歌いました。



津木中学校生徒が環境大臣賞を受賞



津木中学校の生徒14名が「子どもホタレンジャー2017」で環境大臣賞を受賞し、3月16日(金)に町長に報告しました。

生徒たちは「ホタルを支える生態系の解明」と題したレポートを提出しており、審査員からは「全校生徒14人の協力による取り組みやホタルの保護だけでなく、水辺環境の解明、長年のデータ蓄積への取り組みが優れている」と評価を受けました。

受賞おめでとうございます。

河川清掃が行われました ～いつまでもきれいに～

毎年恒例の広川地区河川愛護会による河川清掃が4月1日(日)午前8時から行われました。

当日は各種団体の方々や広川流域の区民など大勢のボランティアの方に参加していただいたおかげで、広川は見違えるようにきれいになりました。

広川は私たちの町の名前の由来にもなった川で、私たちの生活を支えています。

私たちの大切な広川を未来の子どもたちに残していきましょう。

参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。



第40回全国スポーツ少年団剣道交流大会

全国スポ少剣道交流大会でベスト8!

去る3月25日(日)～27日(火)東京武道館において、第40回全国スポーツ少年団剣道交流大会が行われ、和歌山県代表チームの一員として、広川少年剣道教室より、後登美来さん(南広小4)、東翔子さん(広小5)、川口裕誠君(広小6)が出場しました。

大会では、3人の大活躍もあり、予選リーグでは千葉県、高知県に快勝。また、翌日の決勝トーナメントでは、初戦で滋賀県に競り勝ちましたが、準々決勝で準優勝した大分県に惜しくも1-2の僅差で敗退しました。しかしながら全国大会でベスト8に進出し、敢闘賞入賞という成績を取ることができました。

また、試合だけでなく交歓会も行われ、全国から集まった剣友とプレゼント交換をしたり、ゲームをしたりと親睦を深め、選手たちにとっては大変有意義な3日間となりました。(学校名、学年は参加当時)



多くの人で賑わった桜ウォーク

津木地区で桜ウォーク

4月1日(日)広川町観光協会主催で桜ウォークが津木地区で行われました。当日は桜が満開のなか、町内外問わずに約200人が参加しました。

参加者はスタート地点の滝原温泉ほたるの湯を出発し、「気持ちいいね」、「記念に写真撮ろう」「桜を見ながら歩いているとあっという間に到着したね」などと話しながら、往復約6kmのウォーキングを楽しんでいました。

1・2・3参加者はゆっくりと桜を楽しみました。4.さまざまな場所で記念撮影。

